

102-61

問題文

状況にかかわらず漫然とした不安が持続する神経症はどれか。1つ選べ。

1. 広場恐怖
2. 強迫性障害
3. 外傷後ストレス障害(PTSD)
4. 全般性不安障害
5. 社会不安障害

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

広場恐怖症とは、毎回恐怖や不安を誘発するから、ある場所を避けることが半年以上持続している症状のことです。＊別に広場とは限りません。公共交通機関や、閉所なども当てはまります。状況にかかわりないわけではありません。

選択肢 2 ですが

強迫性障害とは、不合理な行為、思考を、意に反して反復してしまう症状です。漫然とした不安の持続ではありません。

選択肢 3 ですが

PTSD（Post Traumatic Stress Disorder）とは、強烈な体験の後に、再体験（当時の記憶、感情がありありと思い出されること）等の症状が継続することです。漫然とした不安の持続ではありません。

選択肢 4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

社会不安障害とは、人前などの状況で相当な苦痛、生活への重大な支障がある程度に恐怖を感じるといった症状です。状況にかかわりないわけではありません。

以上より、正解は 4 です。